

農ガール農ライフ ～女性就農促進による農業問題の解決～

安芸市 企画調整課 山岡 遙

はじめに

農業は安芸市の基幹産業である。以下に特徴を示す。

- 就業者の4人に1人が農場従事者
- ナス、ゆずの生産量が日本一
- 農家平均産出額高知県第2位
- 環境保全型農業の推進

課題

以下のように、農業の衰退を招く課題が存在する。

- 平成17年からの10年間で、17%の農業者が減少
- 平成22年からの5年間で、3haの耕作放棄地が増加

課題解決のアイデア



女性をターゲットとした就農誘致

〈現行制度の課題〉

巨大な女性市場が存在するにもかかわらず、男女画一的な支援しか行われていない

女性就農の苦勞

下記政策による解決を図る

1位 農地の確保

2位 資金の確保



3位 営農技術の習得



出典：「H24全国農業会議所調査」

提案

女性就農を促進するための下記政策を提案する。

政策名「あき農ガールproject」

- ①女性専用農業体験学習施設の設置 → 中学校跡地を活用した学習施設を設置
- ②農地の提供 → 授業で耕作放棄地を再生し、卒業時に無償で提供

女性専用農業体験学習施設に毎年度10人入学すると仮定

予算

①女性専用農業体験学習施設の設置

[単位：千円]

※改修費	30,000	事務費	3,000
講師料	5,000	維持費	1,000
広告宣伝費	1,000		

※初年度のみ 計 10,000

②農地の提供

※10a当たり [単位：千円]

伐採 60 深耕 10

伐根・徐礫 70 耕起 20

整地 40 土壤改良 50

20a/1人×10人 計 5,000

効果

①新規就農者の増加

半数が就農すると

年間**5人**の新規就農が増加

②耕作放棄地の減少

1人当たり20a再生すると

年間**2ha**の農地が再生

③移住者の増加

①新規就農者の半数が移住すると

年間**2.5人**の人口増

ビジョン

女性専用農業体験学習施設で学んだ卒業生が安芸市の農業を全国に発信することで、全国から安芸市での就農を希望する女性を集め、**女性就農者の聖地**となる。